

# 公安委員会定例会議(第12回)の開催状況

第1 日 時 令和4年5月25日(水)

午後1時30分 ～ 午後3時45分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、刑事部長

交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長、総務課長

生活安全企画課長

第3 議事の概要

## 1 曾我部委員説示

本日は、「関所」について話します。組織の中には、様々な判断をしながら仕事を進めていく上で「関所」というものがあります。企業には稟議書というものがあり、起案した稟議書は係長、課長、部長という流れで承認を受けます。私も稟議書を何回も書きましたが、当初は「字が汚く読めない」と何度も破られ、ようやく読んでくれた稟議書は多くの修正が入り、何度も書き直しました。その当時、担当課長から「組織が間違っただけで判断をしないように、それぞれの立場で書類の内容を一つずつ確実に確認するために関所が設けられている」と教わりました。最近ではパソコンで書類を作成するため字の間違ひはあまりありませんが、その一方で、エクセルの計算機能に頼り過ぎて間違っただけの数式を入力し、間違ひに誰も気付かないことが散見されます。やはり、組織には、チェック機能を有する関所が必要です。小さなことでもしっかりチェックしなければ大きな問題につながることを認識していただきたいと思います。

もう一つ、仕事というのは、求められているものを考え、上司からの指示がある前に自主的に取り組むものです。つまり、自分に与えられた仕事かどのようなものなのかをしっかりと理解すれば、どんな仕事であっても本当にいい成果が出ます。また、仕事を与える立場であれば、部下に全てを指示するのではなく、「このようになって欲しい」という気持ちを理解してもらえようという指導をすべきだと思います。

関所機能は、警察に限らず、いかなる組織でも間違ひを減らすために重要ですので、業務の参考としていただきたいと思います。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第11回公安委員会定例会議の会議録について伺いがありました。

### (2) 警察署協議会委員欠員補充候補者の決定

総務室から、警察署協議会委員欠員補充候補者の決定について伺いが

あり了承した。

- (3) 警察署協議会委員の委嘱及び委嘱状の交付  
総務室から、警察署協議会委員の委嘱及び委嘱状の交付について伺いがあり了承した。
- (4) 公安委員会宛て苦情申出の受理  
総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理について伺いがあり了承した。
- (5) 禁止命令等実施結果  
生活安全部から、禁止命令等実施結果について伺いがあり了承した。
- (6) 愛媛県公安委員会事務専決規定の一部改正  
生活安全部から、愛媛県公安委員会事務専決規定の一部改正について伺いがあり了承した。
- (7) 感謝状の審議  
交通部から、感謝状の審議について伺いがあり了承した。
- (8) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞  
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果17件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

### 3 報告事項

- (1) 令和3年度公務災害認定状況  
警務部長から、令和3年度公務災害認定状況について報告があった。  
委員から、「コロナで中止や延期となっていた各種術科大会を開催する場合は、体力面等を考慮し、負傷者が出ないように十分気を付けていただきたい」との発言があった。  
委員から、「大きな事故がなかったことには安堵している。現場では何が起こるか分からないことを認識し、危険を察知できる訓練を繰り返し行うなど、大きな事故が発生しないように努めていただきたい」との発言があった。  
委員から、「警らや捜査、人命救助といった突発的な事故はやむを得ないと考えるが、術科訓練中の怪我などは少しでも減らしていただきたい」との発言があった。
- (2) 令和4年度における監察実施計画  
首席監察官から、令和4年度における監察実施計画について報告があった。  
委員から、「業務監察は組織全体を引き締める良い機会である。日頃、目の届かない業務についてももしっかり点検するなど、効果のある監察に努めていただきたい」との発言があった。  
委員から、「業務監察はこれまでの取組状況を確認するためのものである。日頃の業務に緊張感を持たせるほか、指摘事項については習慣となるまで繰り返し指導していただきたい」との発言があった。

(3) 少年補導職員の専門性向上の取組

生活安全企画課長から、少年補導職員の専門性向上の取組について報告があった。

委員から、「非行少年への対応に当たっては、警察と学校がお互いに連絡を取り合い、常に何らかのつながりを持つなど、積極的に救いの手を差し伸べていただきたい」との発言があった。

委員から、「少年は理不尽なことがあるとそれがきっかけで非行に走ることがある。少しでも異常を感じた場合は早い段階で警察と学校が連絡を取り合って指導に当たるなど、迅速かつ的確に対応していただきたい。また、少年が気軽に相談できる環境づくりにも努めていただきたい」との発言があった。

(4) 新居浜市船木における嬰兒殺人事件の発生・検挙

刑事部長から、新居浜市船木における嬰兒殺人事件の発生・検挙について報告があった。

委員から、「どのような事情があれ、こうした事件が再び起こらないように関係機関との連携を密にしていきたい」との発言があった。

委員から、「捜査を尽くして解決できたことは良かった。引き続き、事件の全容解明に向けて捜査を進めていただきたい」との発言があった。

(5) 「大人も手を上げよう」運動の実施

交通部長から、「大人も手を上げよう」運動の実施について報告があった。

委員から、「手を上げることで、歩行者と運転手の意思疎通ができるようになる。交通事故の抑止につながる成果を期待している」との発言があった。

委員から、「大人が見本となって手を上げて渡ることが大切である。引き続き、各種の交通安全に対する県民の意識の盛り上げを図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「最近、横断歩道を渡る際に車両が停止する場面が多くなった。引き続き、各種取締りと併せて広報啓発活動にも積極的に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(6) 道路交通法違反（共同危険行為等の禁止違反）事件の検挙

交通部長から、道路交通法違反（共同危険行為等の禁止違反）事件の検挙に関する報告があった。

委員から、「重大事故につながりかねない迷惑行為の取締りについて、引き続き、積極的に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(7) 苦情の受理及び処理状況（令和4年4月末）

総務室から、令和4年4月末現在の苦情の受理及び処理状況について報告があった。

4 その他

本部長から、「委員説示のとおり、関所の役割は、チェック機能を発揮するという意味で非常に重要だと思う。特に、強い権限を与えられた警察

が新たな施策を打ち出す場合は、独善に陥らないよう、本当に取り組むべき施策か、その方向性は民意に合っているかどうかなどについてそれぞれの関所で繰り返しチェックし、進めていくことが重要と思う。警察は公の機関だからこそ関所機能をしっかりと組織の中で発揮し、バランスの取れた取組を推進していきたい」「アメリカのテキサス州ユバルディで拳銃を使用した無差別殺傷事件が発生した。日本でも同様の重大事件がいつ発生するか分からない。我が県の場合は拳銃というよりも刃物を使って無差別に殺傷する類の事件がより想定されることから、そういった刃物事案にしっかりと対応できるように現在、鋭意マニュアルの検討や訓練等に努めているところである」との発言があった。

以 上